

学校関係者評価

※ 評価Ⅲの基準

4:よく取り組んでおり、成果が大きい
2:取り組んでいるが成果が十分でない

3:熱心に取り組んでおり、今後が期待できる
1:取組が不十分である

学 校 関 係 者 意 見 等		評価Ⅲ
1 教育・学習内容を充実させ、確かな学力の育成と健やかな体づくりに取り組む	・学力向上等の取り組みに対し、70%ほどの保護者の認知があり、生徒たちも努力しているが、主体的に考える・答える取り組みが少し低い・わからないことを先生に質問するとの回答も低い。 ・1日の平均家庭学習時間が1時間以下が67%で改善する必要がある。 ・熱心に取り組んでいる。本事項が徹底され、ほぼ達成しているが、この取り組みが一部の保護者に認識されていないと思われるため、育友会と連携して広報する必要があると考えられる。	3
2 心の教育を充実させ、自己実現の意識の高揚を図る	・きめ細やかな指導・教育相談・計画的なキャリア教育等が行われ、生徒は充実した学校生活を過ごしている。しかし、一部の保護者の不信任感、クラス内での自分勝手な行動・発言を許さない雰囲気への回答が良い悪いが半々であるなど気になる点がある。	3
3 家庭・地域・学校の連携を深め、活力に満ちた学校園づくりに取り組む	・地域に根ざした学校づくりは、創立当初より続き、家庭・地域との連携実績を保護者の90%以上が理解し、協力的である。 ・社会教育としての一般社会常識を取り入れており今後も期待ができる。 ・一人の人間としての育成をお願いしたい。	4
4 安全な教育環境を確保し、防災意識の高揚を図る	・学校の取り組みへの保護者の認知が60%ほどであり残念である。 ・登下校及び校内の安全・危機管理能力の向上を図ることの必要性を感じている教職員がおり、今後に期待できる。 ・兵庫安全の日の防災教育を継続し、災害時に地域と連携できるような取り組みを期待したい。	3
■教育目標	・研修や自己研鑽を重ね、意欲的に取り組んではいるが、生徒や保護者に取り組みを具体的にわかりやすく示し、充実させる必要がある。 ・小学校では、スクールコミュニティーの設立を進めていることを踏まえ、教育目標を地域にも広報することが必要である。	3
■研究テーマ	・教師自身が成果に満足せず、さらに取り組みを充実させていこうとする姿勢が見られ、今後の改善策・取り組みに期待したい。	3
■		
評価項目（A:優れている B:適切である C:おおむね適切である D:要改善）		評価Ⅳ
アンケート等、自己評価の根拠となる資料は適切か		B
自己評価の結果の内容は適切か		B
自己評価の結果を踏まえた今後の改善策は適切か		